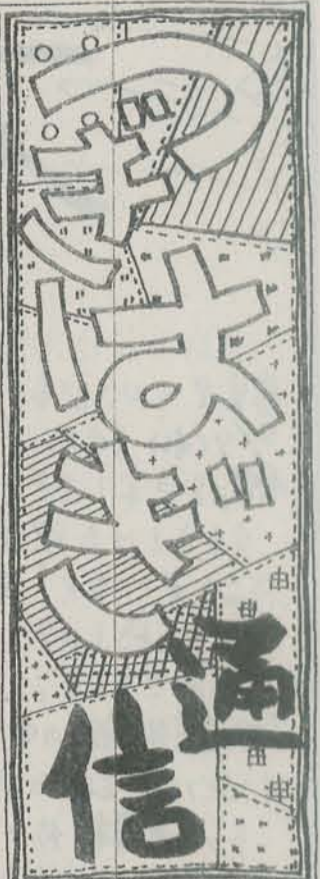


昔、あかし 読んだ大好きな「赤毛のアン」の中にみつけた「スミレ」
 に恋をして、それから私もスミレファン。清楚で可憐で☺
 お客さまやスタッフから頂いたスミレが 私の貧弱な庭に咲きました。



小さな庭

そんなことが きっかけで、ハーブは
 好きなのですが、今まで何度も植えて
 みたものの、上手に育てられない◎
 元気なのは、ローズマリーとローレルと
 ミント。



スミレ

古代人お人々に愛されてきた花
 中央部のシボ、ローマンはスミレのワイルドを飲みました。
 チューダ朝の人たちはシロップ、お茶、ジャム、蜂蜜を作りました。
 <サラミッド、ガーデニングの友>

…そこで今回「もめん屋」にハーブを
 店頭において、より自然さを演出しよう!
 とたくらみ、下見がてら購入したのがタイム
 とティージ〜。それを早速庭に植え、ちょっと満足げ
 に愛読書「サラミッドのガーデニングテキスト」を
 見ていたら、な、な、なんと、その中に「タイムとティージのクッション
 のような盛土や土手で過ごす夏の日々…」と記されていて、ちょっとうれしくなり、その後

カモミールや、ラベンダー、チャイブ etc を植えてみました。

カモミールはスミレ同様、大好きなので
 何度も挑戦するのには、アリにやられて、
 育たずのをくりかえしてします。
 今年こそ!! と息がみは相変わらず、
 凄いのですか…

今のところ元気に育っています。

以前、こんな銭湯がジメジメ
 した庭に繁殖していたのに、
 最近はその姿を消し、どこから
 飛んで来たのか、白詰草が豊かに
 おおい。母からもらったスズランが
 毎年、その数を増やしながら咲いて、
 庭も性格が変わるんじゃないか…

おまの
 うす紫色の花が
 印象的。



カモミール
 (カミツルヤウ)

ピターレビットが「病気の時
 おまのが寝た時に
 一服飲ませたのが
 カモミールです。
 大層物事の
 歌の中にも出て
 来たりね♪

おじん切りにして
 サラダや、スープや
 オムレツに。

チャイブス
 あつぎによく似
 てる。

参考書はサラミッドの IN AND OUT OF THE GARDEN です

タイム 「サウスダウンの丘のタイムの温かなベッドに木陰にたいて
 じりじり、詩文がタイムの香りがする
 と言われることが
 ギリシャの作家
 にとり、
 最上の讃辞で
 あつぎが
 よくわります」
 ウッドワード



天高く伸びまくるベイリーフ(ローレル)
 古代ギリシャ人とローマンは、ベイを大切に、勝利者の
 豆莢を飾る冠を作りました。

中世の芝生はメリリ込んだ芝
 ではなく、自然の牧場の
 ように自由に草花を茂らせ、
 たくさんの花で飾られました。
 今日のような芝生が生
 まれたのは、チューダ朝の時
 代です。その頃はカモミール
 が芝のかわりになりました。

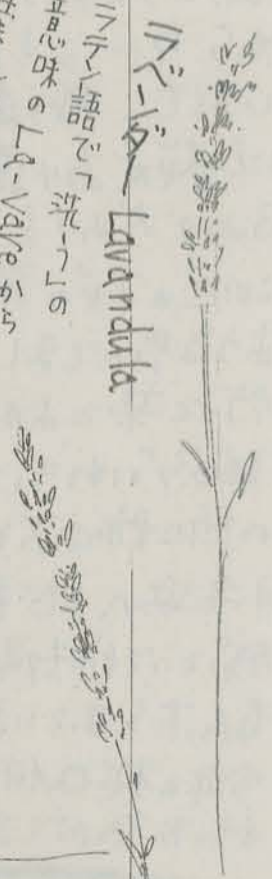
木植物の「お医者さん」とも言わ
 れるカモミールは、たくさん
 の人々をなますだけでなく、
 病気にかった他の木植物も
 なおすと言われています。

*チューダ朝…イギリスの王朝(1485~1603)



つぎはぎ Shop 西田
 459-2021
 阿賀野市中央町
 2-10-10
 Tel. 0250-62-2293
 Fax 0250-62-3266
 cafe 自然楽
 950-0916
 新上市中央区米山
 1-8-26
 Tel. Fax 025-246-9395
 発行：西田令子

「Lavandula」
 Lavandula
 ニンゲル語で「洗う」の
 意味の La-Valve から
 生まれた名前。洗滌水に
 香りをつけるのに使われていたのです。



スタアの声

Korin Ogata
(1658 ~ 1716)

けんや  です。

「ワタシは通信員です、だっせいでしょうか? 西田美術倶楽部会員を若干名募集!!」という記事を出しました。結局 8名の方に会っていただきました。5/9(水) そのメンバーと東京は地下鉄表参道駅から程近い「根津美術館」を見学してきました。

会を立上げた理由は、個人的見解ですが、大好きな絵画など芸術作品を見てくると「元気が出る。」のです。こんな思いをお客様と共有、共感しようと昨年の秋に行ってきた「正倉院展」を見た時にひらめきました。

「根津美術館」の①玉は**国宝**の燕子花図屏風(尾形光琳作)と今回もう一つの②玉は、アメリカの「外ロボリ美術館」所蔵の「八橋図屏風」もちろんこちらも**光琳**作ですヨ。見てきました。ふたつとも、去年は私ひとり見て来た時は見学者は少なうたのに今年が多かったですネ。そのせいでしょうか? 去年より屏風が「ちっちゃく見えたのは私だけだったのでしょうか? それから美術館のお庭の燕子花もきれいに咲いているのも見るこができました。子供の頃見たが、大阪で万博(1970年)が開かれた時、記念切手が四種類発行されました。そのうちの一枚として「燕子花図屏風」がモチーフとなり、そしてその光琳のすばらしさを「光琳百図」という本を出して世に広めたのが**酒井抱一**ですが、この時抱一の「夏秋草図屏風」もいっしょに切手となっていました。こんな二人の関係は今回初めて知りました。**ガテン! ガテン! ガテン!**

ゴールデンウィークのオト、実家に行ってきた。母に会うのは昨年の手術以来。電話の声だけでは何とも頼りなく「大丈夫!?!」と、とても心配ではしたが、実際に顔を見ると以外に元気で安心しました。その母と日帰温泉ですが、一足着に入り、背中を流してきました。もっ近くに居られたら...と思っと思いますが、仕方ないコトですね(笑)




幣店の珈琲コーナーにあるマザーテレサの言葉として心に響くので紹介します。

思考に気をつけなさい
それはいつか言葉に変わるから。
言葉に気をつけなさい
それはいつか行動になるから。
行動に気をつけなさい
それはいつか習慣になるから。
習慣に気をつけなさい
それはいつか性格になるから。
性格に気をつけなさい
それはいつか運命になるから。

玄田で

4/30日 姉夫婦と母と共に三春の滝桜を見に行ってきた。もう散りはじめていて葉はも出ていたが「とても大きくて高い所から花がらが、うらうらと舞うと見物の人たちから「ワ〜」と声か上る」ていました。帰り道 町のあちこちにも桜があり遠くから花がらがるわらわらと車を包んでこの世の桜の散り姿と違うような気がしました。行って来てよかったー。玄田から「いわき」に居るおじいこの所に母は下どうじ、玄田から小名浜へまだ震災の跡が残っていて姉夫婦は「おたのび」なれたと言っていました。今年の桜は何か早く過ぎて行った気がします。

藍の種をまいてから一ヶ月。
こんな感じで育つ時、ちんちん大きめのポイントにうしろをたけつたは...
思いながらたのたのてきす。でも、でも近いうちに!
同じ日に「ヤクイン」も土の中に。こちらは、ま——あ、11/22葉が高さ20cmほどに収穫の準備。お花は、ま——あ、11/22葉が「ナニワハバラ」の葉きはじめた。白い花がら、花心は黄、とてもきれい。まじりつかた...のじ最高です。おんな庭にまた一葉見です。「カラスビシヤク」いう植物をいれた。書店で確認した。これはまた、ちんちんおもしろい植物です。こんなのが家の庭に。いや、おもしろい今日この頃です。松本。



愛犬ハタのサブリット

我家の愛犬ハタの病院通いが、まじりにはじまりました。狂犬病の予防注射がはじまるころから11月の寒くなるころまで通うことになりました。幸い先生と看護師さんのおかげで大好きで喜んで行くことができました。飼主と同じ腰痛持ち、かえってむしろ「サブリット」のおかげから先生からサブリットとあやめられ毎朝食事と共に食べます。そのおかげで元気がいい朝晩の散歩を何よりも楽しみにしてはいます。でも最近の母は腰痛に悩まされています。若穂園